



Profile

彩魁企画・パン工房「おやつ的小屋」

黒川真太郎さんは、東日本大震災をきっかけに、夫婦で食べ物を作り出す農業をやりたいと、妻の喜美恵さんと2人の子どもとともに横浜から新野町に移住。田舎と都会の交流促進にも力を注ぐ。また、夫婦で学童保育所や子ども食堂を立ち上げ活動している。2021農林水産省「第8回ディスカバー農山漁村の宝」特別賞・サステナブル賞受賞。



水と緑が美しい新野町で 実践する安心・安全な農業と 小さな6次産業

全国の約250世帯にお米や野菜・パンを宅配している彩魁企画。お米は、生産段階からコミュニケーションを重ねた町内の生産農家さんへ耕作を委託して県外へ販売している。そんな中、開発したのがブランド米の『新野源流米』。新野上流の、桑野川の源流地域にあたる水の美しい地区で育てたお米。町の宝である水を活かしたお米は、予約だけで売り切れる人気ぶりだ。顧客は、普段入手できない稀少なお米が食べられ、生産農家は、黒川さんが作った宅配システムで、利益を挙げられる。「作る人と食べる人が支え合う共存共栄です」と黒川さんは言う。顧客から届く「美味しい」の声を励みに、生産農家は米づくりに研鑽を積む。こんな人と人との結びつきが、未来へ田んぼを残すことにもつながっていく。

火曜日のみ開く大人気パン店『おやつ的小屋』の地域の子どもたちへの暖簾分けも黒川さんの夢のひとつ。「子どもたちに夢を聞くと、パン屋になりたいという子が多い。でも、徳島は魅力がないから、県外に行くと言う。宝物がいっぱいの地元にてほしい。僕の技をやりたい子に継がせたい」農業、加工、販売だけでなく、子どもたちの夢の後押しまで。「毎日忙しいけれど、充実していますよ」と笑った。